



新座三中だより

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校
令和4年7月1日
新座市池田1-1-1
TEL 048-479-4052
FAX 048-482-0133



【三中HP】
ご覧下さい

たくましい三中生

校長 和久井 功雄

突然の梅雨明けから猛暑となり、日々の実温は35℃を越えています。そして「電力供給逼迫注意報」なる聞き慣れないものが発令され、さらに厳しくなれば「警報」を発令するとも言われています。エアコン設定温度の調整を無理なくと言われてはいますが、あまりの暑さにエアコンの効きも弱く、生徒たちの教師を見る目は、早く夏休みになって欲しいと懇願しているように見えます。引き続き、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながらも、熱中症対策にも注意していきます。

集大成というにはまだ時期が早いとは思いますが、3年生にとってはまとめの1つである修学旅行と学校総合体育大会朝霞地区大会が終了しました。

修学旅行は3年ぶりに予定通りの日程で実施することができました。250人の生徒が、大きな事故やケガ、体調不良者もなく3日間を行程通りに過ごせたことが何よりの成果だと言えます。そして、3日間を通して生徒の成長していく姿を実感できたことが嬉しかったです。実行委員を中心に班長や各係長と班員が互いに協力し合い、支え合い、より良い旅行にしようという取り組みがみられました。一例を示すと、時間を守れたこと。また、1日目の夕食の黙食について反省が出されました。すると2日目の朝食以降は黙食が徹底されていました。互いに声を掛け合いながら実現できていました。一人一人がみんなのためにという気持ちが感じられる行動でした。一生の思い出になる修学旅行になってくれていたら嬉しいです。

修学旅行が終わり、直後の学校総合体育大会でした。どんな結果が出るのか選手でも監督でもないのにドキドキしながら各会場に応援に行きました。そこで目にしたのは、各競技の選手の一生懸命な姿です。その一生懸命とは最後まで決して諦めない姿勢です。注目は卓球女子団体戦、チームは2-2の同点、残ったダブルスの試合にチームの勝敗がかかっています。でも完全な負け状態、ゲームカウント0-2、あと1ゲームで負けです。ところが第3ゲームを取り1-2としました。すると第4ゲーム目も取り2-2の同点。よしいけるぞ！接戦の結果5ゲーム目もみごとに勝ちました。普通なら諦めても仕方が無い状況か

らの大逆転劇です。勝利の瞬間「やった！」と思わず声が出ていました。選手は良く頑張りました。そしてその勝利にはチームの応援、支えがありました。決して諦めない強い気持ちをみんなで貫いた結果です。何よりもこのダブルスの2人は諦めない気持ちの大切さを実際に体現したことで、一生の支えになることなのでしょう。この瞬間に立ち会えたことを幸せに感じます。

他のどの競技も最後まで諦めない三中生、同点(duce)になり、何度もゲームポイントを取られながらも追いつき勝ち越す強い心。試合は負けているけれども最後まで全力で戦い1点でも取り返そうと全力で戦う姿勢、相手チームも気持ちよい試合ができたと思います。

心が震える試合を見せてくれた三中生の素晴らしいさを実感した至福の時間でした。でもこれは簡単なことでもなく、すぐにできることでもないことは言うまでもありません。これこそ日頃の積み重ねがなければできないことです。そこには、指導してきた顧問との信頼関係を感じました。接戦になっても、ギリギリまで追い込まれても、決して生徒を追い込むことなく、生徒を信じて声をかけ、見守る顧問の自信が生徒の支えになっていることも感じた時間でした。本当に貴重な場に立ち会えたことに感謝しかありません。



団体競技で6つの優勝
県大会出場8団体
個人競技で38人が県大会出場

諦めずに挑戦し続ける強い気持ち、この力を付ければ一生の宝になります。修学旅行や今回の大会で感じられた生徒の成長や活躍は、これまでの指導の裏付けがあつてのことです。1年生の時から生徒を信頼し、自分たちで考え行動させる・任せるという指導を繰り返してきた。その積み重ねがあるからこそ、いざという時の様々な状況に対応することができているのだと感じました。中学校生活3年間で育てたい生徒像を持って指導し、その成果を3年生で感じられたとき、全てが報われる気がします。まだまだ時間があります。さらなる成長を期待しています。そして、子供たちの活躍、成長の支えは、何をおいても保護者の皆様の御理解と御協力のお陰に他なりません。いつもありがとうございます。

～ 経験や体験から学ぶ、価値ある失敗を大切に<リトライ> ～